

2011年11月16日/千葉大学総合校舎A号館2階大会議室
アカデミック・リンク・セミナー(第5回)『学芸カフェテリア』の発展

参加者 アンケート集計結果

当日参加者数: 26名 アンケート提出数: 24件

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・学外にも、生活に役立つ知が届けられる。
- ・学生の積極的な関わり方の実践例、とても参考になりました。
- ・大学の資源を本当にうまく活用されているということがとてもよくわかりました。大学は確かに他にはない“知の宝庫”ですが、それを汎用させることがなかなか難しいと思いますので・・・。
- ・学芸カフェテリアで行っている様々なことを知ることができました。学芸カフェテリアというものを初めて知ったため今日の話はとても新鮮でした。特に、就職支援に内定者の話を聞きながらのランチタイムというのはとても羨ましいです。またアカデミック・リンクでも様々な分野・自分の専門でない分野の知識を学ぶことができる嬉しさと感じました。
- ・学芸カフェテリアについて幅広く知ることができた。
- ・学芸カフェテリアの存在、活動。
- ・就職支援と就学支援がリンクしている所がとても参考になりました。図書館職員としては授業、学修の支援ばかりに目がついてしまっていました。
- ・実践的、かつ自由な発想があり驚きました。
- ・学修支援、学生との向き合い方が参考となりました。
- ・今の大学において、就職支援も学生の学びを支援しているということ。
- ・「学芸カフェテリア」という活動について、とても興味深く楽しそうなものだと感じました。ポスターや運営など、学生の活動も生きていていいと思いました。
- ・学校から学生の学術的な取り組みを支援する形として、一つの組織という形で独立していることに驚きました。だからこそ、学生のことを常に考え、改良を重ねることができるのだと思いました。
- ・大学は本当に様々な知識を学ぶことのできる場だということがわかりました。
- ・自分の考えがガラッと変わりました。今回のようなアプローチ(?) 接し方があること自体が新しい発見でした。
- ・準備がとてもよくされている、という点。授業(講座)前の準備が大切なのは、先生であれば誰でも同じなんだなと思いました。
- ・大学内で学芸カフェテリアのように、新たな学生支援プログラムをつくりだせる、活用できることが新たな発見でした。私の中で新しいかたちの学生支援でした。
- ・ただ聞くだけでは抜けていってしまうから、ディスカッションをやったり、感想を書いたりすることはとても大切だなと思った。
- ・学修支援講座の組み立て、運営について。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・学芸カフェテリアの取り組みで多数の先生方がボランティアで講座を引き受けられているという点が素晴らしいです。
- ・“二次作業”の必要性、重要性を感じました。
- ・学芸大学の「カフェテリア」の取り組みについて、過去からの説明がありよくわかった。主体的学生の参加などを知り、新たな発見であった。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・学生に“書かせること”“ディスカッションさせること”等こちらの意図はともしっかりあるようでしたが、学生にとって一連の講座や書くこと、ディスカッションすること、ポートフォリオで残すことなどをどう意味づけ、活かしているかということも気になりました。またカフェメイツの育成？もどのようにされているか・・・、先生方へのアプローチの仕方等も・・・(すみません。質問すればよかったのかもしれませんが)
- ・学内にある似たような部署とどのように性格付けを分けているか。
- ・かんたんでもよいので、レジュメがあればと感じました。
- ・学カフェの設置理念、どういった学内の声から設置することになったのか。
- ・丁寧に説明・質問の回答をさせていただいたので特にありません。
- ・以前は学外で学んだことを学内で準備すること。
- ・学芸カフェテリアの様子をもう少し具体的に見てみたかった。頂いた冊子を見ると、多様な活用法があるようなので、空間的な雰囲気も興味深い。
- ・これに出たいなあと思っていても、1、2年生は授業が多いので出られないのではないかと思った。何かしら工夫があるのでしょうか？
- ・講座でだいたい平均何人くらい受講生が集まるのか、参加率の低い1,2年生へのよびかけはどのようなことをしているのか。
- ・グラフがちょっとわかりづらかった気がします。
- ・特にわからなかったことはない。
- ・広報・周知に関する努力が必要であるとのこと、具体的な取り組みについてお聞きしたかったです。

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・他大の取り組みをもっと知りたいなと思いました。(今回のような学修支援等)
- ・他の大学図書館などで、独自の取り組みがあれば、知りたい。
- ・震災後の図書館に何か変化があったのならそれについて。資料の保存・資料を守るための活動など。
- ・今回の学芸大学についてのお話いろいろ感銘を受けたので、他の大学での取り組みも見たい。
- ・図書館とコミュニケーション力。
- ・学生の運用支援グループの組み立ての事例について。
- ・図書館の活動的場の提供について。

4. 本日のセミナーの内容、著作権制度、大学教育の情報化などについて、自由にご意見をお書きください。

- ・図書館開館業務を受託している業者の者です。今後、資料の電子化の進展に伴い、図書館の役割、図書館員の役割がどう変容していくのか非常に気になります。私どもにとっては“生き残り”をかけた情報収集でもあります。その意味で本日は一つのヒントを得たような気がします。ありがとうございました。
- ・他大学が行っている支援やそれに取り組まれている方の話を直接うかがう機会は本当に少ないので今日のセミナーはとても勉強になりました。今回の支援は正課の学修のフォローアップというよりは、その展開という意味合いが強かったように思いましたが、正課のフォローという意味でどのようなアプローチが可能なのかも合わせて気になりました。
- ・講座タイトルの付け方に気合を入れていると聞いて冊子をペラペラと読んでみたら確かに魅力的なタイトルでした。そのセンスがうらやましいです。
- ・大変参考に、また勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。有益なレクチャーでした。心より感謝申し上げます。
- ・前提となる知識の少ない学生には、今大学がどういった学生支援を求められていてどう答えているのかわからないので、学カフェやアカデミック・リンクがどういったニーズに答えることになるのかを知りたい。(特に学生が恩恵を受ける点)
- ・大学教育の情報化について→山口大学のサイトが一か所からすべてを見渡せる構造になっています。
- ・学芸大学での取り組みを面白く感じると同時に羨ましくも感じた。しかし、自身の大学での取り組みについてちゃんと理解していない節もあるので今後積極的に活用したいと思った。
- ・アンテナの高い学生がリピーターとして参加しているとお話がありましたが、確かにそうかもしれないけれど、それに加えて学生が関心を持てる、興味を持ちやすい講座を開設していることも影響しているのではないかと思います。やはり、受講生のニーズに応えるというのは大切なのだなと思いました。
- ・とても興味深い内容で今回のセミナーを受けて本当によかったです。千葉大学でもこのような学生支援があればいいのになと思います。
- ・学芸大での実践を千葉大でやろうとするためにどこがどう動けばいいのでしょうか？
- ・アカデミック・リンクでは、情報リテラシー教育が中心となるということだが、機会があれば大学の他機関と協力して講座を作ってほしい。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。

5. 次の(1)、(2)について、該当するものに○をつけてください。

- (1) a. 学外から参加 (7名) b. 学内からの参加 (15名) 無回答 (2名)
(2) a. 学生 (13名) b. 教員 (1名) c. 大学職員(図書館職員を除く) (2名)
d. 図書館職員 (2名) e. 出版関係 (0名) f. その他 (3名) 無回答 (3名)

6. セミナーを何で知りましたか？(複数回答あり)

- a. Web(アカデミック・リンク・センター) (1名) b. Web(図書館) (1名) c. Web(千葉大学) (0名)
d. 一斉配信メール (7名) e. ポスター (0名) f. センターからのメール (3名) g. Facebook・Twitter
(0名) h. その他(授業での紹介 10名、図書館総合展での紹介 3名) 無回答 (1名)

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

お名前：()

ご所属：()

電子メールアドレス： 申込時に申請したもの それ以外 ()

※2名が新規に継続的な情報提供を希望

